第82回都市対抗野球大会　大阪・和歌山第2次予選　組み合わせ

◎ 日程表

第〇日	月	日	曜日	球場 舞洲		球場 ドーム	
1	6	6	月	A	B		
2		7	火	C	D		
3		8	水	E	F		
4		9	木	G	H		
5		10	金	I	J		
		11	土				
		12	日				
6		13	月	K	L		
7		14	火	M			
8		15	水	N	O		
		16	木	予備日			
9		17	金	イ			
		18	土	予備日			
		19	日	予備日			
		20	月				
		21	火				
		22	水				
10		23	木	予備日		ロ	
		24	金				
		25	土				
		26	日				
11		27	月			ハ	

◎ 試合方法
企業４チームと1次予選通過上位２チーム＝合計６チームでの総当りリーグ戦
上位４チームによる、変則敗者復活トーナメント
上位２チームが本大会へ出場。
「第２代表決定戦の敗者」と「イの敗者」の２チームが、近畿地区代表決定戦へ出場。

会期：　平成23年6月6日（月）～11日間
予備日 6月16日(木)、18日(土)、19日(日)、23日(木)
場所：　舞洲ベースボールスタジアム
京セラドーム大阪

舞洲＝	リーグ戦	８日間	15試合
舞洲＝	トーナメント	1日間	1試合
ドーム〔予定〕＝	トーナメント	２日間	２試合
		11日間	18試合

◎ 参加チーム
〔企業〕ＮＴＴ西日本、パナソニック、日本生命、大阪ガス
〔クラブクラブチームによる第1次予選上位２チーム

A1=	ＮＴＴ西日本
A2=	日本生命
A3=	パナソニック
A4=	大阪ガス
A5=	和歌山箕島球友会
A6=	履正社学園

◎ リーグ戦

第●日	第1試合＝9：30～						第2試合＝12：30～					
第1日	A	ＮＴＴ西日本	12	対	0	履正社学園	B	日本生命	8	対	1	和歌山箕島球友会
第2日	C	パナソニック	11	対	4	履正社学園	D	大阪ガス	8	対	0	和歌山箕島球友会
第3日	E	ＮＴＴ西日本	6	対	1	大阪ガス	F	日本生命	4	対	3	パナソニック
第4日	G	ＮＴＴ西日本	6	対	1	和歌山箕島球友会	H	日本生命	1	対	0	履正社学園
第5日	I	パナソニック	6	対	3	和歌山箕島球友会	J	大阪ガス	10	対	0	履正社学園
第6日	K	ＮＴＴ西日本	1	対	2	パナソニック	L	日本生命	5	対	4	大阪ガス
第7日	M	和歌山箕島球友会	6	対	0	履正社学園						
第8日	N	パナソニック	2	対	5	大阪ガス	0	ＮＴＴ西日本	3	対	2	日本生命

◎ 勝敗表

	ＮＴＴ西日本	日本生命	パナソニック	大阪ガス	和歌山箕島球友会	履正社学園	勝	敗
ＮＴＴ西日本		○ 3-2	× 1-2	○ 6-1	○ 6-1	○ 12-0	4	1
日本生命	× 2-3		○ 4-3	○ 5-4	○ 8-1	○ 1-0	4	1
パナソニック	○ 2-1	× 3-4		× 2-5	○ 6-3	○ 11-4	3	2
大阪ガス	× 1-6	× 4-5	○ 5-2		○ 8-0	○ 10-0	3	2
和歌山箕島球友会	× 1-6	× 1-8	× 3-6	× 0-8		○ 6-0	1	4
履正社学園	× 0-12	× 0-1	× 4-11	× 0-10	× 0-6		0	5

◎リーグ戦順位決定方法

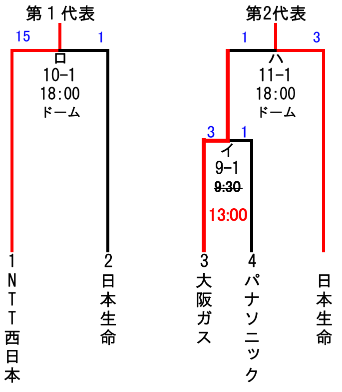
① 勝ち数
② 2チームの勝敗が並んでいる場合、当該対戦の勝者を上位とする
③ 3チーム以上の勝敗が並んでいる場合、リーグ戦全試合の成績により
以下の順で順位を決する。
（1）　得失点率差が大きいチームを上位
（2）　失点率が小さいチームを上位
（3）　自責点率が小さいチームを上位
（4）　チーム打率が高いチームを上位
（5）　抽選（コイントス）

※ 定義　（小数点３位までとし、４位以下は切捨て）
得点率　… 総得点／総攻撃イニング数
失点率　… 総失点／総守備イニング数
得失点率差　… 得点率－失点率
自責点率　… 総自責点／総守備イニング数
チーム打率　… 安打数／打数
↓
※ 上位4チームがトーナメントへ進出

◎リーグ戦順位

1位=	NTT西日本
2位=	日本生命
3位=	大阪ガス
4位=	パナソニック
5位=	和歌山箕島球友会
6位=	履正社学園

◎ 代表決定・変則敗者復活トーナメント



※「イ」と「ハ」の敗者２チームは
近畿地区代表決定戦へ出場